

Oracle® Database

ライセンス情報

10g リリース 2 (10.2)

部品番号 : B19199-15

2009 年 11 月

Oracle Database ライセンス情報, 10g リリース 2 (10.2)

部品番号 : B19199-15

Oracle Database Licensing Information, 10g Release 2 (10.2)

原本部品番号 : B14199-20

原本協力者 : Francisco Abedrabbo, Manmeet Ahluwalia, Michelle Bird, Carolyn Bruse, Rich Buchheim, Sandra Cheevers, Leo Cloutier, Anil Khilani, Mughees Minhas, Trish McGonigle, Dennis MacNeil, Paul Narth, Anu Natarajan, Paul Needham, Philip Newlan, Martin Pena, Jill Robinson, Roel Stalman, Mark Townsend, Jacqueline Woods, Prabhaker Gongloor

Copyright © 2004, 2009, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

制限付権利の説明

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクル社までご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントが、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供される場合は、次の Notice が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS

Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, the use, duplication, disclosure, modification, and adaptation shall be subject to the restrictions and license terms set forth in the applicable Government contract, and, to the extent applicable by the terms of the Government contract, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software License (December 2007). Oracle USA, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このソフトウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアは、危険が伴うアプリケーション（人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む）への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する場合、このソフトウェアを安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性 (redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したことに起因して損害が発生しても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

Oracle は Oracle Corporation およびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

このソフトウェアおよびドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても、一切の責任を負いかねます。

目次

はじめに	iii
対象読者	iv
ドキュメントのアクセシビリティについて	iv
関連ドキュメント	iv
表記規則	iv
サポートおよびサービス	v
1 Oracle Database のエディション	
Oracle Database 製品ファミリ	1-2
エディション別の使用可能な機能	1-3
Windows プラットフォーム固有の機能	1-5
特殊な使用方法のライセンス	1-5
製品ライセンスの変更点	1-8
2 オプションおよびパック	
Oracle Database オプション	2-2
Oracle Management Pack	2-10
その他の Oracle 製品	2-17
A サード・パーティ・ライセンス	
Oracle Database に付属するサード・パーティ製品	A-2
Sun 社製品に付属するサード・パーティ製品	A-24

索引

はじめに

このマニュアルは、Oracle のライセンス契約においてプログラム・マニュアルの一部となっています。このマニュアルは、Oracle プログラムで使用できる機能とオプションについて理解することを目的としています。ライセンスに関するご質問は、iv ページの「[関連ドキュメント](#)」にリストされている情報リソースで詳細を参照してください。

Oracle Database 10g には、様々な開発とデプロイメントのシナリオに適した複数のエディションがあります。

また、Oracle には、特定のアプリケーション要件にあわせて Oracle Database の機能を拡張する、複数のデータベース・オプションおよびパックが用意されています。『Oracle Database ライセンス情報』では、これらのオプションのデータベース製品について説明します。

ここでは、次の項目について説明します。

- [対象読者](#)
- [ドキュメントのアクセシビリティについて](#)
- [関連ドキュメント](#)
- [表記規則](#)
- [サポートおよびサービス](#)

対象読者

このマニュアルは、Oracle Database 10g のすべての購入者を対象としています。

ドキュメントのアクセシビリティについて

オラクル社は、障害のあるお客様にもオラクル社の製品、サービスおよびサポート・ドキュメントを簡単にご利用いただけることを目標としています。オラクル社のドキュメントには、ユーザーが障害支援技術を使用して情報を利用できる機能が組み込まれています。HTML 形式のドキュメントで用意されており、障害のあるお客様が簡単にアクセスできるようにマークアップされています。標準規格は改善されつつあります。オラクル社はドキュメントをすべてのお客様がご利用できるように、市場をリードする他の技術ベンダーと積極的に連携して技術的な問題に対応しています。オラクル社のアクセシビリティについての詳細情報は、Oracle Accessibility Program の Web サイト <http://www.oracle.com/accessibility/> を参照してください。

ドキュメント内のサンプル・コードのアクセシビリティについて

スクリーン・リーダーは、ドキュメント内のサンプル・コードを正確に読めない場合があります。コード表記規則では閉じ括弧だけを行に記述する必要があります。しかし JAWS は括弧だけの行を読まない場合があります。

外部 Web サイトのドキュメントのアクセシビリティについて

このドキュメントにはオラクル社およびその関連会社が所有または管理しない Web サイトへのリンクが含まれている場合があります。オラクル社およびその関連会社は、それらの Web サイトのアクセシビリティに関しての評価や言及は行っておりません。

聴覚に障害があるお客様の Oracle サポート・サービスへのアクセス

Oracle サポート・サービスに連絡するには、テレコミュニケーション・リレー・サービス (TRS) を使用して Oracle サポート (+1-800-223-1711) までお電話ください。Oracle サポート・サービスの技術者が、Oracle サービス・リクエストのプロセスに従って、技術的な問題を処理し、お客様へのサポートを提供します。TRS の詳細は、<http://www.fcc.gov/cgb/consumerfacts/trs.html> を参照してください。電話番号の一覧は、<http://www.fcc.gov/cgb/dro/trsphonebk.html> を参照してください。

関連ドキュメント

詳細は、次の Oracle マニュアルを参照してください。

- 今回のリリースの Oracle Database における新機能の詳細は、『Oracle Database 新機能ガイド』を参照してください。

表記規則

このマニュアルでは次の表記規則を使用します。

規則	意味
太字	太字は、操作に関連する Graphical User Interface 要素、または本文中で定義されている用語および用語集に記載されている用語を示します。
イタリック体	イタリックは、ユーザーが特定の値を指定するプレースホルダ変数を示します。
固定幅フォント	固定幅フォントは、段落内のコマンド、URL、サンプル内のコード、画面に表示されるテキスト、または入力するテキストを示します。

サポートおよびサービス

次の各項に、各サービスに接続するための URL を記載します。

Oracle サポート・サービス

オラクル製品サポートの購入方法、および Oracle サポート・サービスへの連絡方法の詳細は、次の URL を参照してください。

<http://www.oracle.com/lang/jp/support/index.html>

製品マニュアル

製品のマニュアルは、次の URL にあります。

<http://www.oracle.com/technology/global/jp/documentation/index.html>

研修およびトレーニング

研修に関する情報とスケジュールは、次の URL で入手できます。

http://education.oracle.com/pls/web_prod-plq-dad/db_pages.getpage?page_id=3

その他の情報

オラクル製品やサービスに関するその他の情報については、次の URL から参照してください。

<http://www.oracle.com/lang/jp/index.html>

<http://www.oracle.com/technology/global/jp/index.html>

注意： ドキュメント内に記載されている URL や参照ドキュメントには、Oracle Corporation が提供する英語の情報も含まれています。日本語版の情報については、前述の URL を参照してください。

Oracle Database のエディション

この章では、Oracle Database の4つのエディションと、各エディションで使用できる機能について説明します。この章は、次の項目で構成されています。

- Oracle Database 製品ファミリ
- エディション別の使用可能な機能
- Windows プラットフォーム固有の機能
- 特殊な使用方法のライセンス
- 製品ライセンスの変更点

Oracle Database 製品ファミリ

Oracle Database には、様々な開発とデプロイメントのシナリオに適した 4 つのエディションがあります。また、Oracle には、特定のアプリケーションの用途にあわせて Oracle Database の機能を拡張する、複数のデータベース・オプション、パックおよびその他の製品が用意されています。この項では、Oracle Database の各エディションについて説明します。データベース拡張製品については、第 2 章「オプションおよびパック」で説明します。

Oracle Standard Edition One Oracle Standard Edition One は、ワークグループ、部門レベルおよび Web アプリケーションに対して、比類なき操作性、能力およびパフォーマンスを提供します。Oracle Standard Edition One は、中小規模事業所のシングル・サーバー環境から、分散された支社サーバー環境まで、ビジネスクリティカルなアプリケーションの構築に必要なすべての機能を備えています。

Oracle Database Standard Edition Oracle Database Standard Edition は、Standard Edition One と同様の比類なき操作性、能力およびパフォーマンスを提供し、より大きなマシンのサポートと Oracle Real Application Clusters (Oracle RAC) によるサービスのクラスタ化をサポートします。Oracle RAC は、Oracle Database 10g より Standard Edition に含まれ、Oracle9i 以前の旧リリースの Standard Edition では使用できません。

Oracle Database Enterprise Edition Oracle Database Enterprise Edition は、大規模な Online Transaction Processing (OLTP) アプリケーション、問合せ集中処理型データ・ウェアハウスおよび要求の厳しいインターネット・アプリケーションなどのミッションクリティカルなアプリケーションに必要な、パフォーマンス、可用性、スケーラビリティおよびセキュリティを提供します。Oracle Database Enterprise Edition には Oracle Database のすべてのコンポーネントが含まれており、第 2 章「オプションおよびパック」で説明する有償オプション製品および OEM Management Pack 製品を購入することでさらに拡張できます。

Oracle Database Personal Edition Oracle Database Personal Edition は、Oracle Standard Edition One、Oracle Database Standard Edition および Oracle Database Enterprise Edition との完全な互換性を持ち、スタンドアロン環境での開発および利用をサポートします。

Personal Edition には、Enterprise Edition に含まれるすべてのコンポーネントの他に、Enterprise Edition で使用できるすべてのオプションが含まれます。ただし、Personal Edition では使用できない Oracle Real Application Clusters は含まれません。Personal Edition を使用できるのは、Windows 版のみです。また、Oracle Enterprise Manager Management Pack 製品は、Personal Edition には含まれません。

エディション別の使用可能な機能

表 1-1 では、Oracle Database Standard Edition One (SE1)、Standard Edition (SE) および Enterprise Edition (EE) で使用できる機能を示しています。列内の Y の値は、指定リリースでその機能が使用できることを意味し、N は機能が使用できないことを意味します。この表を参照すれば、エディション間の相違を理解し、Enterprise Edition (シングル・ユーザー環境では Personal Edition) が必要かどうかを判断できます。

表 1-1 Oracle Database の各エディションで使用可能な機能

機能 / オプション	SE1	SE	EE	注意事項
高可用性				
Oracle Fail Safe	Y	Y	Y	Windows のみ
Oracle Data Guard - REDO Apply	N	N	Y	
Oracle Data Guard - SQL Apply	N	N	Y	
ローリング・アップグレード - パッチ・セット、データベースおよびオペレーティング・システム	N	N	Y	
オンライン索引再ビルド	N	N	Y	
索引構成表のオンライン編成	N	N	Y	ALTER TABLE ... MOVE ONLINE 操作
オンライン表定義	N	N	Y	DBMS_REDEFINITION パッケージの使用
多重化バックアップ・セット	N	N	Y	
増分バックアップおよびリカバリ	Y	Y	Y	SE1/SE: 最適化済の増分バックアップなし
バックアップでの未使用ブロックの圧縮	N	N	Y	
ブロックレベル・メディア・リカバリ	N	N	Y	
パラレル・バックアップおよびリカバリ	N	N	Y	
表領域の Point-in-Time リカバリ	N	N	Y	
試行リカバリ	N	N	Y	
ファスト・スタート・リカバリ	N	N	Y	
フラッシュバック表	N	N	Y	
フラッシュバック・データベース	N	N	Y	
フラッシュバック・トランザクション問合せ	N	N	Y	
スケーラビリティ				
Oracle Real Application Clusters	N	Y	Y	EE では追加費用あり、SE に付属
自動ワークロード管理	N	Y	Y	RAC が必要
パフォーマンス				
In-Memory Database Cache	N	N	Y	追加費用オプション
セキュリティ				
Advanced Security オプション	N	N	Y	追加費用オプション
Oracle Label Security	N	N	Y	追加費用オプション
Virtual Private Database	N	N	Y	
ファイングレイン監査	N	N	Y	

表 1-1 Oracle Database の各エディションで使用可能な機能 (続き)

機能/オプション	SE1	SE	EE	注意事項
開発プラットフォーム				
SQLJ	Y	Y	Y	Oracle Programmer が必要
Oracle Developer Tools for Visual Studio .NET	Y	Y	Y	Windows のみ
Microsoft 分散トランザクション・コーディネータのサポート	Y	Y	Y	Windows のみ
Active Directory 統合	Y	Y	Y	Windows のみ
Native .NET Data Provider - ODP.NET	Y	Y	Y	Windows のみ
.NET スタアド・プロシージャ	Y	Y	Y	Windows のみ
管理性				
Oracle Change Management Pack	N	N	Y	追加費用オプション
Oracle Configuration Management Pack	N	N	Y	追加費用オプション
Oracle Diagnostics Pack	N	N	Y	追加費用オプション
Oracle Tuning Pack	N	N	Y	追加費用オプション、 Diagnostics Pack も必要
Oracle Provisioning and Patch Automation Pack	N	N	Y	追加費用オプション
データベース・リソース・マネージャ	N	N	Y	
VLDB、データ・ウェアハウス、ビジネス・インテリジェンス				
Oracle Partitioning	N	N	Y	追加費用オプション
Oracle OLAP	N	N	Y	追加費用オプション
Oracle Data Mining	N	N	Y	追加費用オプション
Oracle Data Profiling and Quality	N	N	Y	追加費用オプション
Oracle Data Watch and Repair Connector	N	N	Y	追加費用オプション
データ圧縮	N	N	Y	
ビットマップ索引およびビットマップ結合索引	N	N	Y	
パラレル問合せ /DML	N	N	Y	
パラレル統計収集	N	N	Y	
パラレル索引作成 / スキャン	N	N	Y	
パラレル・データ・ポンプ・エクスポート / インポート	N	N	Y	
トランスポートابل表領域 (クロス・プラットフォームを含む)	N	N	Y	SE、SE1 および EE に対してサ ポートされているトランスポー タブル表領域のインポート
サマリー管理 - マテリアライズド・ビューのクエリー・リライト	N	N	Y	
非同期チェンジ・データ・キャプチャ	N	N	Y	
統合				
基本レプリケーション	Y	Y	Y	SE1/SE: 読取り専用、更新可能 なマテリアライズド・ビュー
Transparent Gateway	Y	Y	Y	追加費用オプション
Oracle Streams	N	N	Y	SE1/SE: 適用のみ
メッセージ・ゲートウェイ	N	N	Y	

表 1-1 Oracle Database の各エディションで使用可能な機能（続き）

機能 / オプション	SE1	SE	EE	注意事項
アドバンスド・レプリケーション	N	N	Y	マルチマスター・レプリケーション
ネットワーク				
Oracle Connection Manager	N	N	Y	
InfiniBand のサポート	N	N	Y	
コンテンツ管理				
Oracle Spatial	N	N	Y	追加費用オプション
Oracle Content Database Suite	N	N	Y	追加費用オプション
Oracle Records DB	N	N	Y	追加費用オプション

Windows プラットフォーム固有の機能

アプリケーション開発に関連する次の機能を使用できるのは、Windows プラットフォーム上に限られます。

- COM オートメーション
- Microsoft Transaction Server/COM+ 統合
- Oracle OLE DB Provider
- Oracle Objects for OLE (OO4O)
- VLM サポート
- OLE DB .NET および ODBC .NET サポート
- Native .NET Data Provider - ODP .NET
- .NET の Oracle Database Extensions (.NET スタアド・プロシージャ)

特殊な使用方法のライセンス

Oracle Database Standard Edition および Oracle Real Application Clusters (Oracle RAC) Oracle Database Standard Edition をクラスタ・サーバー環境で Oracle Real Application Clusters とともに使用する場合は、Oracle Clusterware を使用する必要があります。Oracle Database と依存関係があるサード・パーティのクラスタウェア管理ソリューションはサポートされません。また、すべてのデータベース関連ファイルの管理には自動ストレージ管理 (ASM) を使用する必要があります。サード・パーティのボリューム・マネージャおよびファイル・システムを使用して管理した場合には Real Application Clusters はサポートされません。詳細は、2-7 ページの「[Oracle Database Standard Edition および Oracle Real Application Clusters \(Oracle RAC\)](#)」を参照してください。

Oracle Connection Manager Oracle Connection Manager は、Oracle Database をインストールして使用しているマシンとは別のマシンにインストールして使用できます。Oracle Connection Manager を実行しているマシン用に個別のライセンスを取得する必要はありません。

Oracle Clusterware Oracle Clusterware は、Oracle およびサード・パーティ製の任意のソフトウェアを保護するためにインストールおよび使用できます。ただし、次のいずれかの条件を満たしている必要があります。

1. 保護対象のソフトウェアが Oracle 製である。
2. 保護対象のソフトウェアが Oracle Database を使用している。
3. 保護対象のソフトウェアが Oracle Unbreakable Linux 上で実行されている。

4. 保護対象のソフトウェアが実行されているクラスタ内の少なくとも1つのマシンに、Oracle Database Enterprise Edition または Oracle Database Standard Edition のライセンスが適切なメトリックを使用して付与されている。

クラスタは、同じ Oracle Cluster Registry (OCR) および投票ディスクを共有するすべてのマシンが含まれるものと定義されています。

In-Memory Database Cache Oracle In-Memory Database Cache のライセンスを取得する場合、必要なライセンス数を決定する際には、In-Memory Database Cache ソフトウェアの TimesTen In-Memory Database コンポーネントがインストールおよび（または）実行されているプロセッサのみがカウントされます。

インフラストラクチャ・リポジトリ・データベース ライセンスを追加購入しなくても、独立した Oracle Database をインストールし、Recovery Manager (RMAN) リポジトリとして使用できます。ただし、このリポジトリ内で管理されるすべての Oracle データベースについて適切なライセンスを購入している場合にかぎられます。このリポジトリ・データベースは、Oracle Enterprise Grid Control リポジトリにも使用できます。このデータベースは、他の用途で使用することもデプロイすることもできません。

ライセンスを追加購入しなくても、独立した Oracle Database をインストールし、Oracle Enterprise Manager Grid Control (OEM Grid Control) リポジトリとして使用できます。ただし、このリポジトリ内で管理されるすべてのターゲット（データベース、アプリケーションなど）について適切なライセンスを購入している場合にかぎられます。このデータベースは、Recovery Manager リポジトリにも使用できます。このデータベースは、他の用途で使用することもデプロイすることもできません。

以前のリリースにおける Real Application Testing のサポート

Oracle Real Application Testing のフル機能は、Oracle Database 11g リリース 1 以上でのみ利用可能です。ただし、Oracle9i Database リリース 2 または Oracle Database 10g からのアップグレードを希望しているお客様は、Oracle Real Application Testing の一部の機能を利用できます。

Oracle9i Database リリース 2 で利用可能な機能は次のとおりです。

- **データベース・リプレイ**: ワークロードの取得機能のみがサポートされます。取得されたワークロードの再実行は、Oracle Database 11g でのみ可能です。この機能は、Oracle 9i Database リリース 2 から Oracle Database 11g へのアップグレードに役立てるためだけに使用できます。

Oracle Database 10g リリース 2 で利用可能な機能は次のとおりです。

- **データベース・リプレイ**: ワークロードの取得機能のみがサポートされます。取得されたワークロードの再実行は、Oracle Database 11g でのみ可能です。この機能は、Oracle Database 10g リリース 2 から Oracle Database 11g へのアップグレードに役立てるためだけに使用できます。
- **SQL パフォーマンス・アナライザ**: リモート SQL のテスト実行、および SQL チューニング・セットへの SQL の取得機能のみがサポートされます。これらの機能は、Oracle9i Database リリース 2 および Oracle Database 10g リリース 1 から Oracle Database 10g リリース 2 以上へのアップグレードに役立てるためだけに使用できます。以前のリリース (Oracle 9i Database または Oracle Database 10g リリース 1) から Oracle Database 10g リリース 2 へアップグレードする際には、ターゲット・データベース (Oracle Database 10g リリース 2) 上で SQL をリモート実行するために Oracle Database 11g が必要です。Real Application Testing のライセンス取得は、Oracle Database 10g リリース 2 と Oracle Database 11g の両方のシステムについて必要です。

Oracle Secure Backup Express Oracle Secure Backup Express は Oracle Database にバンドルされています。オラクル社カスタマ・サポート・センターでは、Oracle Secure Backup Express が有効な顧客サポート ID (CSI) を持つ別の Oracle 製品のバックアップに使用される場合、Oracle Secure Backup Express に関する技術サポート、電話サポートまたは更新を提供します。たとえば、Oracle Secure Backup Express を有効な顧客サポート ID を持つ Oracle データベースのバックアップに使用する場合、オラクル社カスタマ・サポート・センターはこのデータベースのバックアップに関する技術サポートを提供します。

更新および技術サポートは、オラクル社の技術サポート・ポリシーに準拠して、Oracle ライセンスの技術サポート・サービスを保持しているお客様にのみ提供されます。Oracle Secure Backup は独立したライセンスを持つ製品であり、オラクル社の技術サポート・ポリシーに準拠してサポートされます。

Legato Storage Manager および Legato Single Server Version。Oracle Secure Backup Express は、Legato Storage Manager (LSM) および Legato Single Server Version (LSSV) の代替製品です。現在 LSM または LSSV を使用している場合、『Oracle Secure Backup 移行ガイド』で、これらの製品を Oracle Secure Backup Express に移行する方法を参照できます。

Oracle Secure Backup Express では、Oracle データベースおよびテープ保護を必要とする Oracle ホーム・ファイルおよびその他のファイル・システム・データをバックアップできます。詳細は、『Oracle Secure Backup ライセンス情報』を参照してください。

Oracle Wallet Oracle Wallet は、パスワード、秘密鍵、証明書、信頼できる証明書、TDE マスター鍵など、認証や署名用の資格情報を格納するために使用する、パスワード保護付きのコンテナです。Oracle Wallet Manager は、ウォレットの所有者が自分の Oracle ウォレット内のセキュリティ資格情報を管理および編集するために使用できるアプリケーションです。Oracle Wallet は、クライアント、中間層およびデータベース・サーバー上に無償でデプロイできます。ただし、Oracle Wallet を使用する機能である、PKI 資格情報、および透過的データ暗号化のマスター鍵については、Oracle Advanced Security オプションのライセンスが必要です。Oracle Advanced Security オプションは、Oracle Database と Oracle Internet Directory との間の通信を保護するためにウォレットを構成する場合には必要ありません。

使用制限付きライセンス 使用制限付きライセンスは、Oracle Database 10g のエディションに、次に示すように含まれています。

- Oracle Internet Directory (OID) の使用制限付きライセンスが、すべてのエディションに含まれています。これは、ユーザーが Oracle Net Services の構成にディレクトリ・ネーミング機能を使用する場合に制限されています。OID は、他の用途で使用することもデプロイすることもできません。Oracle Internet Directory (OID) の詳細は、オラクル社カスタマ・サポート・センターにお問い合わせください。
- Enterprise Edition の OS/390 実装の場合、Access Manager for CICS または Access Manager for IMS/TM のいずれかを使用できます。
- Oracle Application Server Containers for J2EE (OC4J) の使用制限付きライセンスが、すべてのエディションに含まれています。この埋込みバージョンは、Oracle Enterprise Manager (Database および Grid Control)、Advanced Queuing Servlet、iSQL*Plus、Ultra Search、Workflow、Oracle Content Database Suite、Records DB および Warehouse Builder をサポートする目的にのみ提供されており、他の目的で使用することもデプロイすることもできません。
- Oracle HTTP Server の使用制限付きライセンスは、HTTP Server がデータベースと同じサーバー上で実行されている場合、すべてのエディションに含まれています。異なるサーバー上で Oracle HTTP Server を実行する場合は、Oracle Database または Oracle Application Server のライセンスを通じて、そのサーバーに HTTP Server の使用ライセンスが供与される必要があります。

製品ライセンスの変更点

Oracle Warehouse Builder Enterprise ETL オプション

以前 Oracle Warehouse Builder ETL オプションとともにライセンス供与されていた次の機能は、Oracle Database とともにライセンス供与されなくなりました。かわりに、Oracle Data Integrator Enterprise Edition とともにライセンス供与されます。

- 緩やかに変化するディメンション (SCD) タイプ 2 および 3
- ターゲットとしての XML ファイル
- トランスポータブル ETL モジュール、複数構成およびプラグابل・マッピング
- プラグابل・マッピング、プラグابل・マッピング入力署名およびプラグابل・マッピング出力署名の演算子
- RAC 用設計環境のサポート
- ターゲット・ロードの順序付け
- シードされた空間およびストリーム変換
- プロセス・フロー・アクティビティ・テンプレート
- プロセス・フロー変数のサポート
- FOR ループや WHILE ループなどのプロセス・フロー・ループ・アクティビティ
- プロセス・フローによるルート・アクティビティと通知アクティビティ
- メタデータ系統と影響分析
- メタデータ変更の伝播
- スケジュール可能なマッピングおよびプロセス・フロー
- メタデータの拡張性
- Discoverer EUL へのデプロイ
- Oracle BI Beans カタログへのデプロイ

オプションおよびパック

この章では、特定のアプリケーション環境での Oracle Database の機能を拡張するために購入できる、個別のライセンスの Oracle Database オプション、管理パックおよびその他の製品について説明します。この章は、次の項目で構成されています。

- [Oracle Database オプション](#)
- [Oracle Management Pack](#)
- [その他の Oracle 製品](#)

ここで説明するオプション、パックまたはその他の製品を使用するには、個別にライセンスの購入が必要です。これらのオプション、パックまたはその他の製品が、製品 CD またはダウンロード・ファイルに含まれていたり、受け取ったマニュアルに説明が記載されていても、適切なライセンスを購入しなければ使用権限は与えられません。

Oracle Database オプション

Oracle Database Enterprise Edition では、すべての Oracle Database オプションを購入できます。Oracle Database Standard Edition には Oracle Real Application Clusters が含まれています。Oracle Database Standard Edition One ではオプションを購入できません。Personal Edition には、Oracle Real Application Clusters を除くすべてのオプションが追加費用なしで含まれています。

Oracle Advanced Security

Oracle Advanced Security は、データベースに格納されたデータの透過的なデータ暗号化、データベースのディスクベース・バックアップの暗号化、およびデータベースとクライアント・アプリケーションまたは中間層アプリケーションの間のネットワークを介したデータ通信のネットワーク暗号化を提供します。また、Oracle Database に対し、完全な厳密認証サービスを提供します。ネットワーク暗号化は、業界標準のデータ暗号化およびデータ整合性のアルゴリズムを使用して実装されます。この機能では、デプロイメントに関してアルゴリズムおよび暗号の強度を選択できます。厳密認証サービスは、業界標準のサード・パーティ認証オプションの総合的なパッケージをサポートしています。認証オプションには、既存の認証フレームワークとの相互運用による Oracle Database へのシングル・サインオン・サービス、さらにスマートカードおよびトークン・カードなどの2つの要素による認証の選択肢が含まれています。

Oracle Database Enterprise Edition で Enterprise User Security を使用する場合、パスワードベース認証の Oracle Advanced Security オプションに対するライセンスは必要なくなりました。ただし、Oracle Internet Directory (OID) のライセンスが必要です。Enterprise User Security でより厳密な認証方法 (Kerberos または PKI など) を使用する場合、Oracle Advanced Security および Oracle Internet Directory (OID) のライセンスが必要です。2004年4月5日以前に購入した Oracle Advanced Security ライセンスでは、Enterprise User Security をサポートする Oracle Internet Directory (OID) の制限付きライセンスが含まれています。

Oracle Advanced Security に含まれる機能は、次のとおりです。

- 列の透過的データ暗号化 (TDE)
- RMAN バックアップ暗号化
- データベース厳密認証のサポート (PKI、Kerberos、Radius)
- スマートカードのサポート (PKCS#11)
- Transport Layer Security (TLS) のサポート
- ネイティブなネットワーク暗号化
- SSL/TLS ネットワーク暗号化
- SSL アクセラレーション
- 証明書失効リスト (CRL) のサポート

Oracle Content Database Suite

Oracle Content Database Suite は、Oracle Database でのコア・ドキュメント管理サービスを提供するものです。Oracle Content Database Suite は、Oracle Database Enterprise Edition に付随するオプションです。このオプションには、次の機能が含まれます。

リポジトリ:

- Oracle Content Database
- Oracle Content Server

ドキュメント管理:

- Oracle Content Database Archive Adapter for SAP
- Oracle Content Database Portlet Suite
- Oracle Content Integration Suite

- Oracle Desktop Integration Suite
- Oracle Dynamic Converter
- Oracle Drive
- Kofax Release Script

Oracle Data Mining

Oracle Data Mining では、企業データベースを調査し、新しいパターンおよび関連性を明らかにし、それらの情報をビジネス・アプリケーションに統合する、高度なビジネス・インテリジェンス・アプリケーションを構築できます。このオプションにより、データ・マイニング機能が Oracle Database に組み込まれ、分類、予測および対応付けが可能になります。すべてのモデル作成、スコアリングおよびメタデータ管理操作には、Java API または PL/SQL API を使用してアクセスできます。

Oracle Data Mining オプションに含まれる機能は、次のとおりです。

アルゴリズムへのアクセスのためにサポートされる API および GUI

- PL/SQL API (モデル作成、モデルの適用、およびデータ変換用)
- Java API (モデル作成、モデルの適用、およびデータ変換用)
- Oracle Data Miner (GUI)
- 予測分析用スプレッドシート・アドイン

アルゴリズム・カテゴリ、およびサポートされるアルゴリズム

- 分類
 - Naive Bayes
 - ディシジョン・ツリー
 - サポート・ベクター・マシン
- 回帰
 - サポート・ベクター・マシン
- 異常検出
 - 1 クラス・サポート・ベクター・マシン
- 属性評価
 - 最小記述長
- 相関ルール
 - A Priori
- クラスタリング
 - 階層型 K-Means クラスタリング
 - 階層型 O-Cluster
- 予測分析 (PL/SQL パッケージ)
 - 予測
 - 説明
- 特徴抽出
 - Non-negative Matrix Factorization

Oracle Data Profiling and Quality オプション

Data Profiling and Quality オプションでは、生データを品質情報に変換できます。開発者およびデータ・ライブラリアンは、データの詳細を把握し、以前不明だったデータの品質の問題を識別できます。その後、開発者はルールを定義し、データを修正するマッピングを生成できます。データ・ルールに基づき、開発者は、受信データの品質を繰り返し確認するようデータ監査を作成することもできます。

Data Profiling and Quality オプションに含まれる機能は、次のとおりです。

- データ・プロファイリング
- データ・ルール
- プロセス・フローでのデータ監査モニターの使用
- データ修正

Oracle Data Watch and Repair Connector

これは、2-4 ページの「[Oracle Data Profiling and Quality オプション](#)」と組み合わせて使用します。このオプションの組合せが Data Watch and Repair ソリューションとなります。データベースのデータのプロファイルと修正を行い、修正されたデータをソース・アプリケーションに書き戻すことができます。

Oracle Database Vault

Oracle Database Vault では、データおよびアプリケーションにアクセスできるユーザー、時間および場所を制御できます。これにより、最も一般的なセキュリティ上の脅威である悪意のある内部ユーザーから業務内容を保護できます。Oracle Database Vault は、管理者間においても業務を独立させることで、厳格な遵守およびプライバシーの要件に準拠するための強力な予防制御手段ともなります。

- 機密情報へのアクセスおよびリリースの制御について定めたサーベンス・オクスリーおよびその他の規定などの遵守要件に、よりスムーズに対応できるようになります。
- スーパーユーザーなどの高度な権限を持つユーザーによるアクセスに対しても、アプリケーションおよびデータベースのデータへのアクセスを制御します。
- 柔軟なビジネス・ルールにより複数要素の認可を適用します。
- 36 以上の個別のセキュリティ・レポートにより、誰がいつどこにアクセスしているかを表示します。

Oracle Database Vault オプションに含まれる機能は、次のとおりです。

- レルム
- 職務分離
- ファクタ
- コマンド・ルール
- ルール・セット

Oracle In-Memory Database Cache

Oracle In-Memory Database Cache を使用すると、表や表フラグメントから成るパフォーマンスクリティカルな表サブセットを Oracle データベースからアプリケーション層にキャッシュすることによって、アプリケーション・トランザクションの応答時間を改善できます。表フラグメントは拡張 SQL 構文で記述され、Oracle In-Memory Database Cache 表内にキャッシュされます。キャッシュ表は、読取り専用または更新可能な表として指定できます。各アプリケーションは、標準 SQL を使用してキャッシュ表を読取りおよび更新します。キャッシュ表では、データ整合性のために、外部キー制約を使用した関連表間の階層構造が維持されます。また、キャッシュと Oracle データベースとの間には自動データ同期が提供されます。

キャッシュ表は、TimesTen In-Memory Database 内で通常のリレーショナル・データベース表のように管理されます。このように、Oracle In-Memory Database Cache では、リレーショナル・データベースの汎用性と機能性はそのままに、キャッシュと Oracle Database との整合性を透過的にメンテナンスしながら、メモリー内データベースならではのリアルタイムなパフォーマンスが各アプリケーションに提供されます。このデータベース・オプションは、Oracle データベースからパフォーマンスクリティカルなサブセットのみをキャッシュして、アプリケーション層での応答時間を改善することが望まれる場合に最適です。

Oracle In-Memory Database Cache に含まれる機能は、次のとおりです。

- Oracle データベース表の静的および動的なキャッシング
- Oracle データベースからメモリー内キャッシュへの自動データ・リフレッシュ
- メモリー内キャッシュから Oracle データベースへの自動トランザクション書込み（ライトスルー）
- ユーザー定義ポリシーを使用した自動データ・エージング
- 標準の SQL 機能およびデータベース・トランザクション・セマンティクス
- アクティブスタンバイ・ペア・トポロジによるトランザクション・レプリケーション
- トランザクション・ログ API (XLA) を使用したリアルタイム変更通知

Oracle In-Memory Database Cache のライセンスを取得する場合、必要なライセンス数を決定する際には、In-Memory Database Cache ソフトウェアの TimesTen In-Memory Database コンポーネントがインストールおよび（または）実行されているプロセッサのみがカウントされます。

Oracle Label Security

Oracle Label Security は、行ラベルに基づく高度で柔軟なセキュリティを提供しており、ファイディングレイン・アクセス制御が可能です。このオプションでは、機密情報を保護し、データ分類を行うために、政府、防衛および営利組織で使用されるラベリングの概念を利用しています。このオプションには、ポリシー、ラベルおよびユーザー・ラベル認可を管理する強力なツールが含まれます。

デフォルトでは、Oracle Label Security はすべてのポリシー管理に Oracle Database を使用するように設定されています。Oracle Internet Directory (OID) を使用したポリシーの集中管理に関心があるユーザーは、Oracle Identity and Access Management Suite、Oracle Internet Application Server Enterprise Edition、もしくは Oracle Directory Services ライセンスが必要です。

Oracle Label Security オプションに含まれる機能は、次のとおりです。

- ラベル・ベースのアクセス制御 (LBAC)
- マルチレベル・セキュリティ (MLS)
- Database Vault 用ラベル・ファクタ (Confidential、Sensitive)
- ユーザー・ラベル認可 (Confidential、Sensitive:PII)
- データ・ラベル (Sensitive:PII)

Oracle On-Line Analytical Processing (OLAP)

Oracle OLAP は、スケーラブルでパフォーマンスの高い計算エンジンであり、分析の用途に使用できるように完全統合された管理機能が備わっています。このオプションがデータベースに完全に統合されると、完全な分析関数セットが提供されます。予測分析は、市場動向の予測、製品製造要件の予測および企業予算編成と財務分析のシステム構築などに使用できます。複合的な多次元の間合せおよび計算を使用すると、市場占有率および正味現在価値などの情報を導出できます。Java OLAP API は、複合的な分析間合せを必要とするアプリケーションの構築において、効率的なオブジェクト指向を提供します。

Oracle OLAP オプションに含まれる機能は、次のとおりです。

- OLAP キューブの定義、格納および間合せ
- OLAP API およびメタデータ
- アナリティック・ワークスペース
- OLAP キューブへの SQL アクセス

Oracle Partitioning

Oracle Partitioning は、基礎となる大規模データベースの表および索引に対して大幅な管理性、可用性およびパフォーマンス機能を追加することで、OLTP、データ・マート、データ・ウェアハウスおよびコンテンツ管理アプリケーションのデータ管理環境を拡張します。Oracle Partitioning を使用すると、アプリケーションレベルの単一のデータ・ビューを保持しながら、大規模な表を個別管理の小さなピースとして格納できます。レンジ、ハッシュ、リストおよびコンポジット（レンジとハッシュの結合およびレンジとリストの結合）の各パーティション化メソッドがサポートされています。

Oracle Partitioning オプションに含まれる機能は、次のとおりです。

- 表パーティションおよびサブパーティション
- ローカル索引パーティションおよびサブパーティション
- グローバル索引パーティションおよびサブパーティション
- レンジ・パーティション化
- ハッシュ・パーティション化
- リスト・パーティション化
- コンポジット・パーティション化
- サブパーティション・テンプレート
- 高速パーティション分割
- パーティション交換

Oracle Real Application Clusters

Oracle Real Application Clusters (Oracle RAC) は、クラスタリング・テクノロジーを使用して複数のインターコネクト・コンピュータの処理能力を利用する、データベース・コンピューティング環境です。RAC は、すべてのアプリケーションに無制限のスケーラビリティおよび高可用性を提供します。RAC は、コンピュータのハードウェアまたはソフトウェアに障害が発生した場合に、データベースの高可用性を発揮します。クラスタ内のあるコンピュータに障害が発生した場合でも、クラスタ内の障害のないコンピュータにより引き続きデータベース・サービスが提供されます。RAC によりスケーラブルなパフォーマンスが提供されます。データベース・スループットに対する要求の高まりに応じて、停止時間なしでデータベース・クラスタにコンピュータを追加できます。RAC では、管理しやすいようにシングル・システム概念をサポートしています。さらに、RAC はすべてのプラットフォームでクラスタリング・ソフトウェアの完全かつ統合されたスタックを提供します。サード・パーティのクラスタウェア・ソフトウェアは必要ありません。また、RAC は Windows および Linux プラットフォームでクラスタ・ファイル・システム機能を提供します。

Oracle Real Application Clusters に含まれる機能は、次のとおりです。

- Real Application Clusters
- クラスタ検証ユーティリティ
- 自動ワークロード管理
- 接続ロード・バランシング
- 高速接続フェイルオーバー
- ホット・クラスタ・フェイルオーバー

Oracle Database Standard Edition および Oracle Real Application Clusters (Oracle RAC)

Standard Edition については次のライセンス制約に厳密に従う必要があります。定義されている CPU の最大数はクラスタ全体に対する数です。ノード単位の最大数ではありません。

Oracle Clusterware を使用する必要があります。サード・パーティのクラスタウェアは許可されていません。

また、すべてのデータベース関連ファイルの管理には自動ストレージ管理 (ASM) を使用する必要があります。サード・パーティのボリューム・マネージャおよびファイル・システムを使用して管理した場合には Real Application Clusters はサポートされません。次の記憶域には ASM を使用する必要があります。

- データベース・データ・ファイル
- オンライン・ログ
- アーカイブ・ログ
- 制御ファイル
- サーバー・パラメータ・ファイル (spfile)
- フラッシュ・リカバリ領域

次の記憶域には RAW ディスク・パーティションを使用する必要があります。

- 投票ディスク
- Oracle Cluster Registry

次の記憶域にはローカル記憶域を使用する必要があります。

- Oracle ホーム
- トレース・ファイル
- ダンプ・ファイル

前述のファイルの Oracle 用のコピーは、いずれも他の場所に置くことはできません。ただし例外として、スタンバイ・データベースのメンテナンス・スクリプトを手動で記述する場合は、アーカイブ・ログの 2 つ目のコピーを ASM の外側に作成できます。コピー先は、LOG_ARCHIVE_DEST_n パラメータによって指定されたローカル・ファイル・システム上に限られます。

ファイルの RMAN バックアップは、ローカルまたはネットワークにマウントされたファイル・システム上に置くことができます。

OCFS、OCFS2、サード・パーティのクラスタウェア、サード・パーティのクラスタ・ボリューム・マネージャ、サード・パーティのクラスタ・ファイル・システムなど、その他のクラスタ・ソフトウェアはシステムにインストールできません。

Oracle Real Application Testing

Oracle Real Application Testing オプションは、日常的な変更操作（ハードウェア / ソフトウェア・アップグレード、構成変更、プラットフォーム移行など）による意図しない影響からデータベース・アプリケーションを保護するのに役立つ機能のセットで構成されています。これらの機能では、システム変更により生じたあらゆる問題がテスト中に完全に特定および対処されるよう、実世界アプリケーションを包括的にテストできます。これにより、変更が最終的に本番システムへと反映された際に、予期しない問題が発生するのを最小限にとどめることができます。

Oracle Real Application Testing オプションに含まれる機能は、次のとおりです。

- データベース・リプレイ
- SQL パフォーマンス・アナライザ (SPA)
- SQL チューニング・セット (STS)

前述した機能を使用するには、Oracle Real Application Testing オプションのライセンスを購入する必要があります。

注意： SQL チューニング・セットの使用は、Database Tuning Pack のライセンスによっても許可されます。Database Tuning Pack か Real Application Testing オプションのいずれかを所有していれば、SQL チューニング・セットの使用を許可されます。

このリリースの Oracle Database では、Oracle Real Application Testing 機能は一部のみ利用できます。この機能は、リリース 10.2.0.4 から Oracle Database 11g 以降へのデータベース・アップグレードをテストできるようにする目的で提供されています。利用可能な機能は次のとおりです。

- データベース・リプレイ：ワークロードの取得機能のみサポートされます。
- SQL パフォーマンス・アナライザ：SQL チューニング・セットへの SQL の取得機能のみサポートされます。

前述の機能へは、データベース・サーバーのコマンドライン API を通じてだけでなく、Enterprise Manager によってもアクセスできます。どちらのインターフェースを使用する場合でも、Oracle Real Application Testing オプションのライセンスが必要です。

コマンドライン API

Real Application Testing 機能へは、次のデータベース・サーバー API およびコマンドライン・インターフェースを通じてアクセスできます。

- DBMS_WORKLOAD_CAPTURE パッケージは、Real Application Testing オプションの一部です。
- 次に示す DBMS_SQLTUNE パッケージのサブプログラムは、SQL チューニング・セットを管理するためのインターフェースを提供するもので、Real Application Testing オプションおよび Database Tuning Pack の一部です。
 - ADD_SQLSET_REFERENCE
 - CAPTURE_CURSOR_CACHE_SQLSETS
 - CREATE_SQLSET
 - CREATE_STGTAB_SQLSET
 - DELETE_SQLSET
 - DROP_SQLSET
 - LOAD_SQLSET
 - PACK_STGTAB_SQLSET

- REMOVE_SQLSET_REFERENCE
- SELECT_CURSOR_CACHE
- SELECT_SQLSET
- SELECT_WORKLOAD_REPOSITORY
- UNPACK_STGTAB_SQLSET
- UPDATE_SQLSET

Oracle Records DB

Oracle Records DB では、セキュアかつポリシーベースの保存と配置管理、および Oracle Content Database Suite や他のリポジトリ内に格納されたコンテンツのアクセス制御によって、規制準拠およびリスク管理をサポートしています。

Oracle Content Database Suite は、Oracle Records DB の前提となる製品です。Oracle Records DB のライセンスを取得するには、Oracle Content Database Suite のライセンスが必要です。

Oracle Spatial

Oracle Spatial は、複雑な地理情報システム (GIS) アプリケーション、企業アプリケーションおよび位置ベース・サービス・アプリケーションに対し、高度な空間分析機能を提供します。Oracle Spatial は Oracle Locator 機能を強化するものであり、SQL および標準プログラム言語によりアクセスできる位置データの格納、分析および索引付けが可能になります。また、位置データの企業アプリケーションへのシームレスな統合をサポートしており、主要なサード・パーティの GIS ツールを使用して位置データにアクセスできます。Oracle Spatial の高度な機能には、衛星画像や遠隔探査データなどのイメージおよびグリッド・ラスター・データを格納、索引付けおよび分析するための GeoRaster が含まれます。また、ユーザーがアプリケーション用にリンクノード・ネットワーク (グラフ) をモデル化および分析できるネットワーク・データ・モデル、トポロジを永続的に管理するためのトポロジ・データ・モデルとスキーマ、充実した機能を備えたジオコーディング・エンジンとルーティング・エンジン、さらに、位置ベースの分類、ビンニング、対応付けおよび相関など、ビジネス・インテリジェンス・アプリケーションに対応した位置ベース分析機能が含まれます。また、バッファ生成、面積や距離の計算、線形参照などの空間データの操作および分析をサポートします。

Oracle Spatial オプションに含まれる機能は、次のとおりです。

- 一部の空間機能
- 線形参照システム
- GeoRaster の格納、索引付けおよび問合せ
- Network Data Model
- Topology Data Model
- 空間分析およびマイニング機能
- 空間ルーティング・エンジン
- ジオコーディング・エンジン
- セマンティック・コンテンツの格納、索引付けおよび問合せ (RDF/OWL サポート)

Oracle Management Pack

次の各項では、Oracle Management Pack について説明します。Oracle Management Pack は、Enterprise Edition でのみ購入できます。これらのパックに含まれる機能は、Oracle Enterprise Manager Database Control、Oracle Enterprise Manager Grid Control および Oracle Database ソフトウェアで提供される API によってアクセスできます。

Oracle Change Management Pack

Oracle Change Management Pack により、管理者は、データベース・スキーマの変更を評価、計画および実装できます。Change Management Pack を使用することで、管理者は、変更の調査と追跡、オブジェクトとスキーマの比較と同期化、スキーマ・オブジェクトの変更、変更による影響の評価、および以前加えられた変更の UNDO（必要な場合）が可能です。Change Management Pack により、変更の管理が単純かつ効率的になり、エラーのリスクが最小限になるため、データ消失の可能性が低くなり、システムの停止時間が短縮されます。

Change Management Pack に含まれる機能は、次のとおりです。

- データベースおよびスキーマ定義のリバース・エンジニアリング
- ベースラインの取得およびバージョンニング
- データベースおよびスキーマまたはベースラインの比較
- データが含まれる場合、データのサブセットが含まれる場合またはデータが含まれない場合のデータベース・オブジェクトのコピー
- データベース・オブジェクト定義の更新 (ALTER TABLE)
- オブジェクトおよびスキーマの同期化
- 変更による影響の評価
- アプリケーション・スキーマのクローニングまたは伝播

前述の機能を使用するには、Enterprise Manager の Java コンソール・バージョンをインストールする必要があります。これは、インストール・メディアの /companion ディレクトリに格納されています。このインタフェースを使用するには、Change Management Pack のライセンスが必要です。

Oracle Configuration Management Pack

Oracle Configuration Management Pack は、ソフトウェア構成、ソフトウェアおよびハードウェアのインベントリ追跡、パッチ適用、クローニングおよびポリシー管理といった、時間がかかりエラーが頻発するプロセスを自動化します。Configuration Management Pack に含まれる機能は、次のとおりです。

- データベースとホストの構成
- デプロイメント
- 構成の検索
- 構成の比較
- セキュリティ・チェックおよびスコアリングを含むポリシー

これらの機能を使用するには、Configuration Management Pack のライセンスを購入する必要があります。Configuration Management Pack の機能は、Enterprise Manager および Enterprise Manager リポジトリ・ビューによりアクセスできます。どちらのインタフェースを使用する場合でも、Configuration Management Pack のライセンスが必要です。

以前のリリースでは、このパックには、パッチ・デプロイメント機能（データベースのパッチ適用、パッチ・キャッシュの表示、パッチのステージング）、Oracle ホームのクローニング機能、およびデータベースのクローニング機能の3つの追加機能が含まれていました。これらの機能は、Configuration Management Pack には含まれなくなりました。現在は、Enterprise Manager とともにライセンス供与される Oracle Provisioning and Patch Automation Pack に含まれています。ただし、以前に Oracle Database の Configuration Management Pack のライセ

ンス供与を受けている場合は、Oracle Provisioning and Patch Automation Pack のライセンスがなくてもこれらの機能を使用する権利があります。

Enterprise Manager

Enterprise Manager Grid Control および Database Control 内のどのリンクが Configuration Management Pack の一部であるかを判断するには、Enterprise Manager ホーム・ページの右上にある「設定」リンクをクリックします。

- 「設定」リンクをクリックした場合、ナビゲーション・バーには「**管理パックのアクセス権**」リンクが含まれます。このリンクをクリックします。
- すると「**管理パックのアクセス権**」ページが表示され、ここですべての管理パックに対しアクセス権を付与および削除できます。
 - Enterprise Manager Database Control の場合、Configuration Management Pack の「**アクセス権の削除**」ラジオ・ボタンをクリックし、「**適用**」をクリックします。
 - Enterprise Manager Grid Control の場合、Configuration Management Pack の適切なチェック・ボックスをクリックし、「**適用**」をクリックします。

これによって、Enterprise Manager 内の Configuration Management Pack に関連付けられたすべてのリンクおよびタブが無効になります。無効化されたリンクおよびタブはすべて Configuration Management Pack の一部であるため、パック・ライセンスが必要です。

Configuration Management Pack データベース・レポート

次のレポートがこのパックに含まれます。

- 「**デプロイおよび構成**」ページ: 全レポート
- 「**監視**」ページの「**アラートおよびポリシー違反**」リンク: 全レポート
- 「**監視**」ページの「**無効化されたポリシー**」リンク: 全レポート
- 「**セキュリティ**」ページの「**セキュリティ・ポリシー概要**」リンク: 全レポート

Configuration Management Pack Enterprise Manager リポジトリ・ビュー

- **ポリシー定義ビュー**
 - MGMT\$POLICIES
 - MGMT\$POLICY_PARAMETERS
 - MGMT\$POLICY_VIOLATION_CTXT
 - MGMT\$POLICY_VIOL_ANNOTATIONS
 - MGMT\$POLICY_VIOL_NOTIF_LOG
- **ポリシー関連付けビュー**
 - MGMT\$TARGET_POLICIES
 - MGMT\$TARGET_POLICY_SETTINGS
 - MGMT\$TARGET_POLICY_EVAL_SUM
 - MGMT\$TARGET_COMPLIANCE_SCORE
- **ポリシー違反ビュー**
 - MGMT\$POLICY_VIOLATION_CURRENT
 - MGMT\$POLICY_VIOLATION_HISTORY
 - MGMT\$POLICY_VIOLATION_CONTEXT

- **構成ビュー**
 - MGMT\$DB_TABLESPACES
 - MGMT\$DB_DATAFILES
 - MGMT\$DB_CONTROLFILES
- **Oracle ホームのパッチ適用**
 - MGMT\$CPF_ADVISORY_INFO
 - MGMT\$CPF_HOMES_INFO
 - MGMT\$CPF_PATCH_INFO
 - MGMT\$EM_HOMES_PLATFORM
 - MGMT\$HOMES_AFFECTED
 - MGMT\$PATCH_ADVISORIES
 - MGMT\$APPL_PATCH_AND_PATCHSET
 - MGMT\$APPLIED_PATCHES
 - MGMT\$APPLIED_PATCHSETS
- **Linux パッチ適用**
 - MGMT\$HOSTPATCH_HOSTS
 - MGMT\$HOSTPATCH_GROUPS
 - MGMT\$HOSTPATCH_GRP_COMPL_HIST
 - MGMT\$HOSTPATCH_HOST_COMPL
- **セキュリティ・ビュー**
 - MGMT\$ESA_ALL_PRIVS_REPORT
 - MGMT\$ESA_ANY_DICT_REPORT
 - MGMT\$ESA_ANY_PRIV_REPORT
 - MGMT\$ESA_AUDIT_SYSTEM_REPORT
 - MGMT\$ESA_BECOME_USER_REPORT
 - MGMT\$ESA_CATALOG_REPORT
 - MGMT\$ESA_CONN_PRIV_REPORT
 - MGMT\$ESA_CREATE_PRIV_REPORT
 - MGMT\$ESA_DBA_GROUP_REPORT
 - MGMT\$ESA_DBA_ROLE_REPORT
 - MGMT\$ESA_DIRECT_PRIV_REPORT
 - MGMT\$ESA_EXMPT_ACCESS_REPORT
 - MGMT\$ESA_KEY_OBJECTS_REPORT
 - MGMT\$ESA_OH_OWNERSHIP_REPORT
 - MGMT\$ESA_OH_PERMISSION_REPORT
 - MGMT\$ESA_POWER_PRIV_REPORT
 - MGMT\$ESA_PUB_PRIV_REPORT
 - MGMT\$ESA_SYS_PUB_PKG_REPORT
 - MGMT\$ESA_TABSP_OWNERS_REPORT

- MGMT\$ESA_TRC_AUD_PERM_REPORT
- MGMT\$ESA_WITH_ADMIN_REPORT
- MGMT\$ESA_WITH_GRANT_REPORT
- クライアント構成ビュー
 - MGMT\$CSA_COLLECTIONS
 - MGMT\$CSA_FAILED
 - MGMT\$CSA_HOST_OS_COMPONENTS
 - MGMT\$CSA_HOST_SW
 - MGMT\$CSA_HOST_COOKIES
 - MGMT\$CSA_HOST_CUSTOM
 - MGMT\$CSA_HOST_RULES
 - MGMT\$CSA_HOST_CPUS
 - MGMT\$CSA_HOST_IOCARDS
 - MGMT\$CSA_HOST_NICS
 - MGMT\$CSA_HOST_OS_PROPERTIES
 - MGMT\$CSA_HOST_OS_FILESYSTEMS
 - MGMT\$ECM_CONFIG_HISTORY
 - MGMT\$ECM_CONFIG_HISTORY_KEY1
 - MGMT\$ECM_CONFIG_HISTORY_KEY2
 - MGMT\$ECM_CONFIG_HISTORY_KEY3
 - MGMT\$ECM_CONFIG_HISTORY_KEY4
 - MGMT\$ECM_CONFIG_HISTORY_KEY5
 - MGMT\$ECM_CONFIG_HISTORY_KEY6
 - MGMT\$HW_NIC
 - MGMT\$OS_COMPONENTS
 - MGMT\$OS_FS_MOUNT
 - MGMT\$OS_HW_SUMMARY
 - MGMT\$OS_HW_SUMMARY
 - MGMT\$OS_PATCHES
 - MGMT\$OS_SUMMARY
 - MGMT\$SOFTWARE_COMP_PATCHSET
 - MGMT\$SOFTWARE_COMPONENT_ONEOFF
 - MGMT\$SOFTWARE_COMPONENTS
 - MGMT\$SOFTWARE_DEPENDENCIES
 - MGMT\$SOFTWARE_HOMES
 - MGMT\$SOFTWARE_ONEOFF_PATCHES
 - MGMT\$SOFTWARE_OTHERS
 - MGMT\$SOFTWARE_PATCHES_IN_HOMES
 - MGMT\$SOFTWARE_PATCHSETS

Oracle Diagnostics Pack

Oracle Diagnostics Pack は、自動パフォーマンス診断および高度なシステム監視機能を提供します。Diagnostics Pack に含まれる機能は、次のとおりです。

- Automatic Workload Repository
- Automatic Database Diagnostic Monitor (ADDM)
- パフォーマンス監視 (データベースおよびホスト)
- イベント通知: 通知メソッド、ルールおよびスケジュール
- イベント履歴およびメトリック履歴 (データベースおよびホスト)
- ブラックアウト
- 動的メトリック・ベースライン
- 監視テンプレート
- メモリー・アクセス・ベースのパフォーマンス・モニタリング

前述した機能を使用するには、Diagnostics Pack のライセンスを購入する必要があります。Diagnostics Pack 機能は、データベース・サーバーのコマンドライン API を介してだけでなく、Enterprise Manager リンクによってアクセスできます。どちらのインタフェースを使用する場合でも、Diagnostics Pack のライセンスが必要です。

Enterprise Manager

Enterprise Manager Grid Control および Database Control 内のどのリンクが Diagnostics Pack の一部であるかを判断するには、Enterprise Manager ホーム・ページの右上にある「設定」リンクをクリックします。

- 「設定」リンクをクリックした場合、ナビゲーション・バーには「管理パックのアクセス権」リンクが含まれます。このリンクをクリックします。
- すると「管理パックのアクセス権」ページが表示され、ここですべての管理パックに対しアクセス権を付与および削除できます。
 - Enterprise Manager Database Control の場合、Diagnostics Pack の「アクセス権の削除」ラジオ・ボタンをクリックし、「適用」をクリックします。
 - Enterprise Manager Grid Control の場合、Diagnostics Pack の適切なチェック・ボックスをクリックし、「適用」をクリックします。

これによって、Enterprise Manager 内の Diagnostics Pack に関連付けられたすべてのリンクおよびタブが無効になります。無効化されたリンクおよびタブはすべて Diagnostics Pack の一部であるため、パック・ライセンスが必要です。

コマンドライン API

Diagnostics Pack の機能は、データベース・サーバー API およびコマンドライン・インタフェースでもアクセスできます。

- DBMS_WORKLOAD_REPOSITORY パッケージは、Diagnostics Pack のライセンスが必要です。
- *advisor_name* パラメータの値として ADDM を指定した場合、または *task_name* パラメータの値に ADDM 接頭辞で始まる値を指定した場合、DBMS_ADVISOR パッケージは Diagnostics Pack のライセンスが必要です。
- V\$ACTIVE_SESSION_HISTORY 動的パフォーマンス・ビューは、Diagnostics Pack のライセンスが必要です。
- 接頭辞 DBA_HIST_ で始まるすべてのデータ・ディクショナリ・ビューと、これらの基礎となる表は、Diagnostics Pack のライセンスが必要です。
- 接頭辞 DBA_ADVISOR_ を持つすべてのデータ・ディクショナリ・ビューは、これらのビューに対する問合せで、ADVISOR_NAME 列内に「ADDM」の値を持つ行、または TASK_NAME 列内に「ADDM*」の値を持つ行またはそれに対応する TASK_ID の行が戻された場合、Diagnostics Pack のライセンスが必要です。
- Oracle ホーム・ディレクトリの /rdbms/admin/ ディレクトリにある、awrrpt.sql、awrrpti.sql、addmrtp.sql、addmrpti.sql、awrrpt.sql、awrrpti.sql、addmrpt.sql、addmrpti.sql、ashrpt.sql、ashrpti.sql、awrddrpt.sql、awrddrpi.sql、awrsqrpti.sql および awrsqrpt.sql のレポートは、Diagnostics Pack のライセンスが必要です。

Oracle Diagnostics Pack Enterprise Manager リポジトリ・ビュー

- 監視ビュー
 - MGMT\$BLACKOUT_HISTORY
 - MGMT\$BLACKOUTS
 - MGMT\$ALERT_ANNOTATIONS
 - MGMT\$ALERT_NOTIF_LOG
 - MGMT\$TARGET_METRIC_COLLECTIONS
 - MGMT\$METRIC_COLLECTIONS
 - MGMT\$TARGET_METRIC_SETTINGS
 - MGMT\$AVAILABILITY_CURRENT
 - MGMT\$AVAILABILITY_HISTORY
 - MGMT\$ALERT_CURRENT
 - MGMT\$ALERT_HISTORY
 - MGMT\$METRIC_DETAILS
 - MGMT\$METRIC_CURRENT
 - MGMT\$METRIC_HOURLY
 - MGMT\$METRIC_DAILY
- テンプレート・ビュー
 - MGMT\$TEMPLATES
 - MGMT\$TEMPLATE_POLICY_SETTINGS
 - MGMT\$TEMPLATE_METRIC_COLLECTION
 - MGMT\$TEMPLATE_METRIC_SETTINGS

Oracle Provisioning and Patch Automation Pack

Oracle Provisioning and Patch Automation Pack は、ソフトウェア、アプリケーション、およびデータベースと基礎となるオペレーティング・システムのパッチのデプロイメントを自動化します。クリティカルなデータ・センターの運用が容易かつ効率的でスケーラブルになり、運用上のリスクと所有コストが低減します。オペレーティング・システムとデータベースを含むソフトウェア・スタック全体をプロビジョニングできる機能と、包括的なレポート・ツールを持つ Oracle Provisioning and Patch Automation Pack は、システム管理全体において非常に重要な位置づけを占めます。

Oracle Provisioning and Patch Automation Pack に含まれる機能は、次のとおりです。

- Oracle データベース製品およびオペレーティング・システムの自動パッチ適用
- クリティカル・パッチ機能
- ソフトウェア・イメージ・ライブラリ
- ベアメタル OS プロビジョニング
- シングル・インスタンスおよび RAC プロビジョニング
- シングル・クリックによるクラスタのスケールアップとスケールダウン
- シングル・インスタンスの RAC への変換
- CLI ドリブン・ランタイム
- エンタープライズ・セキュリティ・アドバイザ
- プロビジョニングおよびデプロイメント・レポート

Oracle Tuning Pack

Oracle Tuning Pack を使用すると、データベース管理者は、SQL チューニングおよび記憶域の最適化を含む、Oracle 環境の高度なパフォーマンス管理が可能になります。Oracle Diagnostics Pack は、Oracle Tuning Pack の前提となる製品です。したがって、Oracle Tuning Pack を使用するには、Oracle Diagnostics Pack も必要です。Tuning Pack に含まれる機能は、次のとおりです。

- SQL アクセス・アドバイザ
- SQL チューニング・アドバイザ
- SQL チューニング・セット
- オブジェクトの再編成

前述した機能を使用するには、Tuning Pack のライセンスを購入する必要があります。Tuning Pack 機能は、データベース・サーバーのコマンドライン API を介してだけでなく、Enterprise Manager リンクによってアクセスできます。どちらのインタフェースを使用する場合でも、Tuning Pack のライセンスが必要です。

Enterprise Manager

Enterprise Manager Grid Control および Database Control 内のどのリンクが Diagnostics Pack の一部であるかを判断するには、Enterprise Manager ホーム・ページの右上にある「設定」リンクをクリックします。

- 「設定」リンクをクリックした場合、ナビゲーション・バーには「**管理パックのアクセス権**」リンクが含まれます。このリンクをクリックします。
- すると「**管理パックのアクセス権**」ページが表示され、ここですべての管理パックに対しアクセス権を付与および削除できます。
 - Enterprise Manager Database Control の場合、Tuning Pack の「**アクセス権の削除**」ラジオ・ボタンをクリックし、「**適用**」をクリックします。
 - Enterprise Manager Grid Control の場合、Tuning Pack の適切なチェック・ボックスをクリックし、「**適用**」をクリックします。

これによって、Enterprise Manager 内の Tuning Pack に関連付けられたすべてのリンクおよびタブが無効になります。無効化されたリンクおよびタブはすべて Tuning Pack の一部であるため、パック・ライセンスが必要です。

コマンドライン API

Tuning Pack の機能は、データベース・サーバー API でもアクセスできます。次の PL/SQL パッケージを使用するには、Oracle Tuning Pack のライセンスが必要です。

- DBMS_SQLTUNE
- DBMS_ADVISOR (advisor_name パラメータの値が「SQL Tuning Advisor」または「SQL Access Advisor」である場合)
- Oracle ホーム・ディレクトリの /rdbms/admin/ ディレクトリにある sqltrpt.sql のレポートは、Tuning Pack のライセンスが必要です。

その他の Oracle 製品

この章で説明したオプションおよびパックの他に、Oracle では特定の顧客環境に対応する 2 つの製品が提供されています。

Oracle Database Lite

Oracle Database Lite Client Oracle Database Lite Client は、モバイル・アプリケーションや組み込み型アプリケーション向けに使用される、小規模の汎用リレーショナル・データベースです。Oracle Database Lite クライアントは、組み込みのハードウェアやソフトウェア・アプリケーション用のスタンドアロン・データベースとして使用したり、Oracle Database Lite Mobile Server と組み合わせて、非接続のモバイル・アプリケーション用のデータ・ストアとして使用することができます。

各ユーザーは Named User Plus ライセンスを購入する必要があります。

Oracle Database Lite Mobile Server Oracle Database Lite Mobile Server は、モバイル・アプリケーションや非接続アプリケーション向けの中層インフラストラクチャです。データ同期を実行して、アプリケーション、ユーザーおよびデバイスの管理機能を提供します。Oracle Database Lite Mobile Server では、モバイルや非接続のアプリケーション用のデータ・ストアとして、Oracle Database Lite クライアントを使用できます。これにより、効率的で信頼性が高く、かつ安全なデータ管理機能を、モバイル・デバイスやスモール・フットプリント・デバイス上でローカルに稼働させることができます。Lite Mobile Server は、デバイスと Oracle Database との間のスケーラブルなデータ同期をサポートします。

Oracle Database Mobile Server のライセンスは、CPU 単位での購入になります。

注意： Lite Mobile Server を Lite Client と併用する場合は、Lite Mobile Server 用に少なくとも 1CPU 分のライセンスを、またクライアントごとに Named User Plus ライセンスを購入する必要があります。

Oracle Programmer

Oracle Programmer は、アプリケーション・プログラマ用にすべてのエディションの Oracle Database にプログラム・インタフェースを提供する、独立した Oracle 製品です。Oracle Programmer は、Oracle Database にアクセスして操作する企業アプリケーションを構築する開発者に対して、豊富なインタフェース・セットを提供します。この製品は、Oracle Database 製品とは別にライセンスが付与されます。Oracle Programmer は、次の製品のファミリです。

- SQL 形式の 3 つの埋込みインタフェース：プリコンパイラ、SQL*Module および SQLJ
- データベース・スキーマからホスト言語バインドを生成する 2 つのユーティリティ：Object Type Translator および JPub

Oracle Secure Backup

Oracle Secure Backup は、Oracle 環境全体にテープ・バックアップ管理を提供します。Oracle Secure Backup を使用して、直接添付またはネットワーク添付テープ・ドライブにより、Oracle データベースおよびホスト・ファイル・システムをテープにバックアップできます。Oracle Secure Backup では集中管理が可能となり、バックアップおよびリストア操作を制御できます。

Oracle Secure Backup には、様々な開発とデプロイメントのシナリオに適した次の形式があります。

Oracle Secure Backup 多数のサーバーで構成される環境の場合、Oracle Secure Backup はサーバーからテープへ高パフォーマンスのデータ保護を提供します。この保護はビジネス・クリティカルなデータのローカルおよびオフサイトでの格納にきわめて重要です。

Oracle Secure Backup Express 単一サーバーで構成される環境の場合、Oracle Secure Backup Express は Oracle Secure Backup と同じテープ・バックアップ機能を提供しますが、直接添付テープ・ドライブが 1 つである単一ホストに制限されています。

サード・パーティ・ライセンス

この付録は、次の項目で構成されています。

- [Oracle Database](#) に付属するサード・パーティ製品
- [Sun](#) 社製品に付属するサード・パーティ製品

Oracle Database に付属するサード・パーティ製品

この項には、Oracle Database 10g リリース 2 (10.2) に付属するすべてのサード・パーティ製品のサード・パーティ・ライセンス情報が含まれます。オラクル社では、このマニュアルで説明している指定のプログラムで、次のサード・パーティおよびオープン・ソース・ソフトウェアが使用されていることを了承しています。

Apache Web Server 1.3.22 (mod_mm 1.1.3、mod_perl 1.26、mod_jserv、SOAP 2.2、SOAP Client 2.2、SOAP Envelopes API および DBI 0.88 を含む) (Apache Software Foundation)

Copyright (c) 1996-2002 The Apache Software Foundation. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The end-user documentation included with the redistribution, if any, must include the following acknowledgment:

'This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).'

Alternately, this acknowledgment may appear in the software itself, if and wherever such third-party acknowledgments normally appear.

4. The names 'Apache' and 'Apache Software Foundation' must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact apache@apache.org.
5. Products derived from this software may not be called 'Apache', nor may 'Apache' appear in their name, without prior written permission of the Apache Software Foundation.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED 'AS IS' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE APACHE SOFTWARE FOUNDATION OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This software consists of voluntary contributions made by many individuals on behalf of the Apache Software Foundation. For more information on the Apache Software Foundation, please see <http://www.apache.org/>. This product includes software developed by the Java Apache Project for use in the Apache JServ Servlet Engine (<http://java.apache.org>).

Axis 1.2 (Apache Software Foundation)

Apache License
Version 2.0, January 2004
<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION**1. Definitions.**

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

- 2. Grant of Copyright License.** Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. **Grant of Patent License.** Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.
4. **Redistribution.** You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:
 - a. You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
 - b. You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
 - c. You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
 - d. If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. **Submission of Contributions.** Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.
6. **Trademarks.** This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. **Disclaimer of Warranty.** Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.
8. **Limitation of Liability.** In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.
9. **Accepting Warranty or Additional Liability.** While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

ConvertUTF.C (Unicode 社)

Oracle Drive には、Unicode 社 (<http://www.unicode.org>) が開発したソフトウェア、ConvertUTF.C (<http://www.unicode.org/Public/PROGRAMS/CVTUTF/ConvertUTF.c> で入手可能) が含まれます。このソフトウェアには次の注意事項があります。

Grateful acknowledgement to Mark E. Davis, Rick McGowan, S. Parent, A. Lillich, and Tim Dodd.

Copyright 2001-2004 Unicode, Inc.

Disclaimer

This source code is provided as is by Unicode, Inc. No claims are made as to fitness for any particular purpose. No warranties of any kind are expressed or implied. The recipient agrees to determine applicability of information provided. If this file has been purchased on magnetic or optical media from Unicode, Inc., the sole remedy for any claim will be exchange of defective media within 90 days of receipt.

Limitations on Rights to Redistribute This Code

Unicode, Inc. hereby grants the right to freely use the information supplied in this file in the creation of products supporting the Unicode Standard, and to make copies of this file in any form for internal or external distribution as long as this notice remains attached.

Conversions between UTF32, UTF-16, and UTF-8. Source code file.

Author: Mark E. Davis, 1994.

Rev History: Rick McGowan, fixes & updates May 2001.

Sept 2001: fixed const & error conditions per mods suggested by S. Parent & A. Lillich.

June 2002: Tim Dodd added detection and handling of incomplete source sequences, enhanced error detection, added casts to eliminate compiler warnings.

July 2003: slight mods to back out aggressive FFFE detection.

Jan 2004: updated switches in from-UTF8 conversions.

Oct 2004: updated to use UNI_MAX_LEGAL_UTF32 in UTF-32 conversions.

CyberNeko HTML Parser 0.9.3

(C) Copyright 2002-2005, Andy Clark. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The end-user documentation included with the redistribution, if any, must include the following acknowledgment: "This product includes software developed by Andy Clark." Alternately, this acknowledgment may appear in the software itself, if and wherever such third-party acknowledgments normally appear.
4. The names "CyberNeko" and "NekoHTML" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact andyc@cyberneko.net.
5. Products derived from this software may not be called "CyberNeko", nor may "CyberNeko" appear in their name, without prior written permission of the author.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR OTHER CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

=====

This license is based on the Apache Software License, version 1.1.

This product includes software developed by Andy Clark.

Expat XML Parser 1.2

Copyright (c) 1998-2005 Thai Open Source Center Ltd.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

GD Library 1.8.4

Credits and license terms

In order to resolve any possible confusion regarding the authorship of gd, the following copyright statement covers all of the authors who have required such a statement. If you are aware of any oversights in this copyright notice, please contact Thomas Boutell who will be pleased to correct them.

Portions copyright 1994, 1995, 1996, 1997, 1998, 1999, 2000 by Cold Spring Harbor Laboratory. Funded under Grant P41-RR02188 by the National Institutes of Health.

Portions copyright 1996, 1997, 1998, 1999, 2000 by Boutell.Com, Inc.

Portions relating to GD2 format copyright 1999, 2000 Philip Warner.

Portions relating to PNG copyright 1999, 2000 Greg Roelofs.

Portions relating to libtiff copyright 1999, 2000 John Ellson (ellson@lucent.com).

Portions relating to JPEG copyright 2000, Doug Becker and copyright (C) 1994-1998, Thomas G. Lane. This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

Portions relating to WBMP copyright 2000 Maurice Szmurlo and Johan Van den Brande.

Permission has been granted to copy, distribute and modify gd in any context without fee, including a commercial application, provided that this notice is present in user-accessible supporting documentation.

This does not affect your ownership of the derived work itself, and the intent is to assure proper credit for the authors of gd, not to interfere with your productive use of gd. If you have questions, ask. "Derived works" includes all programs that utilize the library. Credit must be given in user-accessible documentation.

This software is provided "AS IS." The copyright holders disclaim all warranties, either express or implied, including but not limited to implied warranties of merchantability and fitness for a particular purpose, with respect to this code and accompanying documentation.

Although their code does not appear in gd 1.8.4, the authors wish to thank David Koblas, David Rowley, and Hutchison Avenue Software Corporation for their prior contributions.

JabberBeans 0.9.4 (Jabber 社)

This program contains third-party code from Jabber, Inc. Under the terms of the Jabber Open Source License, Oracle is required to provide the following notices. この製品に付属する Oracle プログラム・ライセンスにより、JabberBeans ソフトウェアを含む Oracle プログラムの使用権限が決定されますが、次の注意事項に含まれる条件によりこの権限が変更されることはありません。Oracle プログラム・ライセンスに別途記載がある場合でも、JabberBeans ソフトウェアはオラクル社によりそのままの状態を提供され、オラクル社または Jabber 社からのいかなる保証もサポートもありません。

JabberBeans のソース・コードは Jabber 社 (<http://www.jabber.com>) から入手できます。

JPEG ソフトウェア 6b (Independent JPEG Group)

このソフトウェアは Independent JPEG Group の製品の一部に基づいています。

Mail::Sendmail Perl モジュール 0.79 (CPAN)

Mail::Sendmail Perl モジュールのソースは、次の URL で取得できます。

<http://search.cpan.org/~mivkovic/Mail-Sendmail-0.79/Sendmail.pm>

Netscape Messaging Access Software Development Kit (SDK) 3.5、Netscape Messaging Access Software Development Kit (SDK) 3.5.1 および LDAP SDK 5.1 (Netscape 社)

Oracle Mobile Collaboration 実装の各部分は、Netscape Access Messaging Software Development Kit (SDK) バージョン 3.5 コードに基づいています。The Original Code is Mozilla Communicator client code, released on or about June 15, 1998. The Initial Developer of the Original Code is Netscape Communications Corporation. Netscape 社により作成された部分の著作権は次のとおりです。Copyright ©1998-1999 Netscape Communications Corporation. All rights reserved.

Oracle Mobile Collaboration による Netscape Messaging Access SDK への変更は、
http://www.oracle.com/technology/software/products/cs/opensource/mobility/nma_sdk_changes.html にあります。

Oracle Mobile Collaboration による Netscape Messaging Access SDK への変更が含まれるソース・コードは、
http://www.oracle.com/technology/software/products/cs/opensource/mobility/nma_sdk_changes.zip で、ZIP 形式でダウンロードできます。

IMAP4、SMTP および MIME 実装の各部分は、Netscape Access Messaging Software Development Kit (SDK) コードに基づいています。The Original Code is Mozilla Communicator client code, released March 31, 1998. The Initial Developer of the Original Code is Netscape Communications Corporation. Netscape 社により作成された部分の著作権は次のとおりです。Copyright ©1998-1999 Netscape Communications Corporation. All rights reserved.

Oracle による Netscape Messaging Access SDK への変更は、
http://www.oracle.com/technology/software/products/cs/opensource/ocfo/nma_sdk_changes.html にあります。

Oracle による Netscape Messaging Access SDK への変更が含まれるソース・コードは、
http://www.oracle.com/technology/software/products/cs/opensource/ocfo/nma_sdk_changes.zip で、ZIP 形式でダウンロードできます。

Oracle Calendar 実装の各部分は Netscape LDAP Software Development Kit 5.1 コードに基づいています。The Original Code is Mozilla Communicator client code, released March 31, 1998. The Initial Developer of the Original Code is Netscape Communications Corporation. Netscape 社により作成された部分の著作権は次のとおりです。Copyright ©1998-1999 Netscape Communications Corporation. All rights reserved.

Oracle のライセンス取得者との Oracle ライセンス契約の条件はオラクル社によってのみ提供されており、Mozilla Public License および Netscape Public License における最初の開発者および各ライセンス取得者は、このような条件に関する責任または義務を負いかねません。

OpenSSL Toolkit 0.96m (OpenSSL Project)

この製品には、OpenSSL Toolkit での使用を目的とした、OpenSSL Project * で開発されたソフトウェアが含まれています。(http://www.openssl.org/)

Copyright (c) 1998-2003 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit.(http://www.openssl.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project or use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Remote Control of Netscape Navigator for Unix 1.1.3 (Netscape 社)

Copyright © 1996 Netscape Communications Corporation, all rights reserved. Created: Jamie Zawinski jwz@netscape.com, 24-Dec-94.

Permission to use, copy, modify, distribute and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation. No representations are made about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

Sentry Spelling-Checker Engine 5.10 (Wintertree Software)

Sentry Spelling-Checker Engine Copyright (c) 2002 Wintertree Software Inc.

SyncML Toolkit 4.1 (SyncML Initiative 社)

LICENSE The Copyright Holders of this software, including all accompanying documentation ("Software"), hereby grant, royalty free and for any purpose, permission to use, copy, modify and prepare derivative works therefrom, distribute, publish, sublicense and sell copies of the Software and to permit persons to whom the Software is furnished to do the same, all subject to the following conditions: 1. The complete text of the following notice shall be reproduced on each copy or substantial copy of the Software in a location readily viewable to users of the Software: NOTICE Copyright (c) Ericsson, IBM, Lotus, Matsushita Communication Industrial Co., Ltd., Motorola, Nokia, Openwave Systems, Inc., Palm, Inc., Psion, Starfish Software, Symbian, Ltd. (2001-2002).All Rights Reserved.Implementation of all or part of any Software may require licenses under third party intellectual property rights, including without limitation, patent rights.The Copyright Holders are not responsible and shall not be held responsible in any manner for identifying or failing to identify any or all such third party intellectual property rights.THIS DOCUMENT AND THE INFORMATION CONTAINED HEREIN ARE PROVIDED ON AN "AS IS" BASIS WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND AND ERICSSON, IBM, LOTUS, MATSUSHITA COMMUNICATION INDUSTRIAL CO. LTD, MOTOROLA, NOKIA, OPENWAVE, PALM INC., PSION, STARFISH SOFTWARE, SYMBIAN AND ALL OTHER SYNCML SPONSORS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTY THAT THE USE OF THE INFORMATION HEREIN WILL NOT INFRINGE ANY RIGHTS OR ANY IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.IN NO EVENT SHALL ERICSSON, IBM, LOTUS, MATSUSHITA COMMUNICATION INDUSTRIAL CO., LTD, MOTOROLA, NOKIA, OPENWAVE, PALM INC., PSION, STARFISH SOFTWARE.SYMBIAN OR ANY OTHER SYNCML SPONSOR BE LIABLE TO ANY PARTY FOR ANY LOSS OF PROFITS, LOSS OF BUSINESS, LOSS OF USE OF DATA, INTERRUPTION OF BUSINESS, OR FOR DIRECT, INDIRECT, SPECIAL OR EXEMPLARY, INCIDENTAL, PUNITIVE OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND IN CONNECTION WITH THIS DOCUMENT OR THE INFORMATION CONTAINED HEREIN, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH LOSS OR DAMAGE.

Team Spirit 1.2.14.31 (SPIRIT 社)

Copyright (c) 1995-2004, SPIRIT, Ltd.

Xerces C++ 2.1.0.0 および Xerces2 Java Parser 2.6.2

この製品には、Apache Software Foundation が開発した Xerces C++ 2.1.0.0 が含まれます。

Copyright (c) 1999-2000 The Apache Software Foundation. All rights reserved.

この製品には、Apache Software Foundation が開発した Xerces2 Java Parser 2.6.2 が含まれません。

Copyright (c) 1999-2004 The Apache Software Foundation. All rights reserved.

オラクル社のライセンスは Apache Software License Version 1.1 に基づいています。

<http://www.apache.org/>

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The end-user documentation included with the redistribution, if any, must include the following acknowledgment: "This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>)." Alternately, this acknowledgment may appear in the software itself, if and wherever such third-party acknowledgments normally appear.
4. The names "Xerces" and "Apache Software Foundation" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact apache@apache.org.
5. Products derived from this software may not be called "Apache", nor may "Apache" appear in their name, without prior written permission of the Apache Software Foundation.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE APACHE SOFTWARE FOUNDATION OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

=====

This software consists of voluntary contributions made by many individuals on behalf of the Apache Software Foundation and was originally based on software copyright (c) 1999, International Business Machines, Inc., <http://www.ibm.com>. For more information on the Apache Software Foundation, please see <http://www.apache.org/>.

XPEXplorer Bar 3.2.1.2 (Mathew Hall)

Copyright © 2004-2005, Mathew Hall

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

DBI 1.20/DBD 1.15 (Tim Bunce)

このプログラムに含まれるソース・コードは Tim Bunce が開発したものです。このコードの最新バージョンは、<http://search.cpan.org/~timb/> を参照してください。

SSL Plus Toolkit (Certicom 社)

この製品には、Certicom 社からライセンスを取得したコードが含まれます。

Zip Utility 2.3、UnZip Utility 5.5.1 (Info-ZIP)

Copyright (c) 1990-2003 Info-ZIP. All rights reserved.

For the purposes of this copyright and license, 'Info-ZIP' is defined as the following set of individuals: Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ed Gordon, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Steven M. Schweda, Christian Spieler, Cosmin Truta, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White

This software is provided 'as is,' without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software. Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.
2. Redistributions in binary form (compiled executables) must reproduce the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation and/or other materials provided with the distribution. The sole exception to this condition is redistribution of a standard UnZipSFX binary (including SFXWiz) as part of a self-extracting archive; that is permitted without inclusion of this license, as long as the normal SFX banner has not been removed from the binary or disabled.
3. Altered versions--including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, and dynamic, shared, or static library versions--must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info-ZIP releases--including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names 'Info-ZIP' (or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), 'Pocket UnZip,' 'WiZ' or 'MacZip' without the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or of the Info-ZIP URL(s).
4. Info-ZIP retains the right to use the names 'Info-ZIP,' 'Zip,' 'UnZip,' 'UnZipSFX,' 'WiZ,' 'Pocket UnZip,' 'Pocket Zip,' and 'MacZip' for its own source and binary releases.

**Stemming Technology 2.2、XLT API Developer Toolkit v.1.0.5 (更新を含む)
および Linguistic Databases (更新を含む。英語、フランス語、ドイツ語、イ
タリア語、スペイン語およびオランダ語対応) (Inxight 社)**

Copyright (c) Inxight Software, Inc.

Kerberos 5 リリース 11.0 Beta 4 (マサチューセッツ工科大学 (MIT)、 OpenVision Technologies 社およびカリフォルニア州立大学評議会)

このプログラムには、マサチューセッツ工科大学 (MIT)、OpenVision Technologies 社およびカリフォルニア州立大学評議会によるサード・パーティ・コードが含まれます。Kerberos のライセンス条件に基づき、Oracle は、次の条件で Kerberos ソフトウェアのライセンスをユーザーに付与することが求められています。この製品に付随する Oracle プログラム・ライセンスに含まれる条件は、Kerberos ソフトウェアには適用されず、Kerberos ソフトウェアを使用する権利は、下に述べている内容に限られるので注意してください。オラクル社は、Kerberos ソフトウェアのパフォーマンスについては責任を負いかねます。また、Kerberos ソフトウェアの技術サポートは提供しておらず、Kerberos ソフトウェアの使用により生じた損害については、一切の責任を負いかねます。

Copyright (c) 1985-2002 by the Massachusetts Institute of Technology.

All rights reserved.

Export of this software from the United States of America may require a specific license from the United States Government. It is the responsibility of any person or organization contemplating export to obtain such a license before exporting.

WITHIN THAT CONSTRAINT, permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of M.I.T. not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Furthermore, if you modify this software you must label your software as modified software and not distribute it in such a fashion that it might be confused with the original M.I.T. software. M.I.T. makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Individual source code files are copyright M.I.T., Cygnus Support, OpenVision, Oracle, Sun Soft, FundsXpress, and others.

Project Athena, Athena, Athena MUSE, Discuss, Hesiod, Kerberos, Moira, and Zephyr are trademarks of the Massachusetts Institute of Technology (M.I.T.). No commercial use of these trademarks may be made without prior written permission of M.I.T.

"Commercial use" means use of a name in a product or other for-profit manner. It does NOT prevent a commercial firm from referring to the M.I.T. trademarks in order to convey information (although in doing so, recognition of their trademark status should be given).

Open Vision Kerberos Administration システム 次の著作権および権限情報は、kadmin/create、kadmin/dbutil、kadmin/passwd、kadmin/server、lib/kadm5 および lib/rpc の各部に置かれた OpenVision Kerberos Administration システムに適用されます。

Copyright, OpenVision Technologies, Inc., 1996, All Rights Reserved.

WARNING: Retrieving the OpenVision Kerberos Administration system source code, as described below, indicates your acceptance of the following terms. If you do not agree to the following terms, do not retrieve the OpenVision Kerberos administration system.

You may freely use and distribute the Source Code and Object Code compiled from it, with or without modification, but this Source Code is provided to you "AS IS" EXCLUSIVE OF ANY WARRANTY, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR ANY OTHER WARRANTY, WHETHER EXPRESS OR IMPLIED. IN NO EVENT WILL OPENVISION HAVE ANY LIABILITY FOR ANY LOST PROFITS, LOSS OF DATA, OR COSTS OF PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES, OR FOR ANY SPECIAL, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THIS AGREEMENT, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE RESULTING FROM THE USE OF THE SOURCE CODE, OR THE FAILURE OF THE SOURCE CODE TO PERFORM, OR FOR ANY OTHER REASON.

OpenVision retains all copyrights in the donated Source Code. OpenVision also retains copyright to derivative works of the Source Code, whether created by OpenVision or by a third party. The OpenVision copyright notice must be preserved if derivative works are made based on the donated Source Code.

OpenVision Technologies, Inc., has donated this Kerberos Administration system to M.I.T. for inclusion in the standard Kerberos 5 distribution. This donation underscores our commitment to continuing Kerberos technology development and our gratitude for the valuable work which has been performed by M.I.T. and the Kerberos community.

Additional Licensing Information Portions contributed by Matt Crawford crawdada@fnal.gov were work performed at Fermi National Accelerator Laboratory, which is operated by Universities Research Association, Inc., under contract DE-AC02-76CHO3000 with the U. S. Department of Energy.

Perl Interpreter 5.8.3、Devel-symdump 2.01、Digest MD5 2.13、HTML Parser 3.2.4/3.2.5、Libnet 1.0703、Libwww-perl 5.53、MIME based 64 v2.12、Net-Daemon 0.35、PIRPC 0.2015、Storable 1.012、URI 1.12、Win32-TieRegistry-0.24、Win32API-Registry-0.23、Simple.pm (最終的な名称は保留中) (CPAN/Perl)

前述の製品の未変更標準バージョンのソース・コードは、<http://www.cpan.org/src/README.html> にあります。

BSAFE (BSAFE CRYPTO-C 6.0.3.)、BSAFE (BSAFE CERT-C TOOLKIT 2.5.1) (RSA Security)

この製品には、RSA Data Security 社からライセンスを取得したコードが含まれます。



JRE 1.4.2、JDK 1.4.2、Java Advanced Imaging (JAI) 1.1.1_01、Java Access Bridge 1.0.2 (製品版) および Java Mail 1.1.3 (Sun 社)

この製品には、Sun 社から提供されたコードが含まれます。



BLAS および LPACK

Copyright (c) Jack Dongarra

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of BLAS or LPACK nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

mod_ssl (Ralf S. Engelschall)

Copyright (c) 1998-2001 Ralf S. Engelschall. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

This product includes software developed by Ralf S. Engelschall <rse@engelschall.com> for use in the mod_ssl project (<http://www.modssl.org/>)

4. The names "mod_ssl" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact rse@engelschall.com.
5. Products derived from this software may not be called "mod_ssl" nor may "mod_ssl" appear in their names without prior written permission of Ralf S. Engelschall.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:

This product includes software developed by Ralf S. Engelschall <rse@engelschall.com> for use in the mod_ssl project (<http://www.modssl.org/>)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY RALF S. ENGELSCHALL AS IS AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL RALF S. ENGELSCHALL OR HIS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

OpenSSL 0.9.6b (OpenSSL Project)

配布ライセンス。オブジェクト・コードの配布に関して、マニュアルに次の記述が含まれる必要があります。

Copyright (c) 1998-2001 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL toolkit. (<http://www.openssl.org/>).

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE Open SSL PROJECT AS IS AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE Open SSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

TCL 8.2.3

この製品には、次の通知を含める必要がある TCL v. 8.2.3 ファイルが含まれています。

This software is copyrighted by the Regents of the University of California, Sun Microsystems, Inc., Scriptics Corporation, and other parties. The following terms apply to all files associated with the software unless explicitly disclaimed in individual files.

The authors hereby grant permission to use, copy, modify, distribute, and license this software and its documentation for any purpose, provided that existing copyright notices are retained in all copies and that this notice is included verbatim in any distributions. No written agreement, license, or royalty fee is required for any of the authorized uses.

Modifications to this software may be copyrighted by their authors and need not follow the licensing terms described here, provided that the new terms are clearly indicated on the first page of each file where they apply.

IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR DISTRIBUTORS BE LIABLE TO ANY PARTY FOR DIRECT, INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, ITS DOCUMENTATION, OR ANY DERIVATIVES THEREOF, EVEN IF THE AUTHORS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

THE AUTHORS AND DISTRIBUTORS SPECIFICALLY DISCLAIM ANY WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, AND NON-INFRINGEMENT. THIS SOFTWARE IS PROVIDED ON AN "AS IS" BASIS, AND THE AUTHORS AND DISTRIBUTORS HAVE NO OBLIGATION TO PROVIDE MAINTENANCE, SUPPORT, UPDATES, ENHANCEMENTS, OR MODIFICATIONS.

GOVERNMENT USE: If you are acquiring this software on behalf of the U.S. government, the Government shall have only "Restricted Rights" in the software and related documentation as defined in the Federal Acquisition Regulations (FARs) in Clause 52.227.19 (c) (2). If you are acquiring the software on behalf of the Department of Defense, the software shall be classified as "Commercial Computer Software" and the Government shall have only "Restricted Rights" as defined in Clause 252.227-7013 (c) (1) of DFARs. Notwithstanding the foregoing, the authors grant the U.S. Government and others acting in its behalf permission to use and distribute the software in accordance with the terms specified in this license.

その他のサード・パーティ・ライセンス情報

Portions of this software Copyright 1992-1999 MapInfo Corporation, ALL RIGHTS RESERVED.

Apache License

このプログラムには Batik バージョン 1.6 が含まれます。

Apache License

Version 2.0, January 2004

<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity. "You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. **Grant of Patent License.** Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.
4. **Redistribution.** You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:
 - a. You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
 - b. You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
 - c. You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
 - d. If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. **Submission of Contributions.** Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.
6. **Trademarks.** This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. **Disclaimer of Warranty.** Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.
8. **Limitation of Liability.** In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.
9. **Accepting Warranty or Additional Liability.** While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

JACL バージョン 1.3.1

SUN MICROSYSTEMS, INC. THROUGH ITS SUN MICROSYSTEMS LABORATORIES DIVISION ("SUN") WILL LICENSE THIS SOFTWARE AND THE ACCOMPANYING DOCUMENTATION TO YOU (a "Licensee") ONLY ON YOUR ACCEPTANCE OF ALL THE TERMS SET FORTH BELOW.

Sun grants Licensee a non-exclusive, royalty-free right to download, install, compile, use, copy and distribute the Software, modify or otherwise create derivative works from the Software (each, a "Modification") and distribute any Modification in source code and/or binary code form to its customers with a license agreement containing these terms and noting that the Software has been modified. The Software is copyrighted by Sun and other third parties and Licensee shall retain and reproduce all copyright and other notices presently on the Software. As between Sun and Licensee, Sun is the sole owner of all rights in and to the Software other than the limited rights granted to Licensee herein; Licensee will own its Modifications, expressly subject to Sun's continuing ownership of the Software. Licensee will, at its expense, defend and indemnify Sun and its licensors from and against any third party claims, including costs and reasonable attorneys' fees, and be wholly responsible for any liabilities arising out of or related to Licensee's development, use or distribution of the Software or Modifications. Any distribution of the Software and Modifications must comply with all applicable United States export control laws.

THE SOFTWARE IS BEING PROVIDED TO LICENSEE "AS IS" AND ALL EXPRESS OR IMPLIED CONDITIONS AND WARRANTIES, INCLUDING ANY IMPLIED WARRANTY OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR NON-INFRINGEMENT, ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT WILL SUN BE LIABLE HEREUNDER FOR ANY DIRECT DAMAGES OR ANY INDIRECT, PUNITIVE, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND.

Portions of Jacl and Tcl Blend are Copyright (c) 1997-1999 The Regents of the University of California.

All rights reserved.

Permission is hereby granted, without written agreement and without license or royalty fees, to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose, provided that the above copyright notice and the following two paragraphs appear in all copies of this software.

IN NO EVENT SHALL THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA BE LIABLE TO ANY PARTY FOR DIRECT, INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE AND ITS DOCUMENTATION, EVEN IF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA SPECIFICALLY DISCLAIMS ANY WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE SOFTWARE PROVIDED HEREUNDER IS ON AN "AS IS" BASIS, AND THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA HAS NO OBLIGATION TO PROVIDE MAINTENANCE, SUPPORT, UPDATES, ENHANCEMENTS, OR MODIFICATIONS.

Sun 社製品に付属するサード・パーティ製品

Sun 社は、Oracle 製品に含まれる Java Development Kit または JRE ソフトウェア（あるいはその両方）に次のソフトウェアが含まれる可能性を示しています。Sun 社は、Sun 社の配布の一環として、現在次の注意事項を示しています。

A. CS CodeViewer v1.0: このソフトウェアの使用は、次のライセンス条件によって規定されています。

Copyright 1999 by CoolServlets.com.

Any errors or suggested improvements to this class can be reported as instructed on CoolServlets.com. We hope you enjoy this program... your comments will encourage further development! This software is distributed under the terms of the BSD License. Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither name of CoolServlets.com nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

"THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY COOLSERVLETS.COM AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE."

B. DES および 3xDES: このソフトウェアの使用は、次のライセンス条件によって規定されています。

"Copyright 2000 by Jef Poskanzer <jef@acme.com>. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE."

C. Crimson v1.1.1: このソフトウェアの使用は、次のライセンス条件によって規定されています。

The Apache Software License, Version 1.1

Copyright (c) 1999-2000 The Apache Software Foundation. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The end-user documentation included with the redistribution, if any, must include the following acknowledgment: "This product includes software developed by the Apache Software Foundation

<http://www.apache.org/>

Alternately, this acknowledgment may appear in the software itself, if and wherever such third-party acknowledgments normally appear.

4. The names "Crimson" and "Apache Software Foundation" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact apache@apache.org.
5. Products derived from this software may not be called "Apache", nor may "Apache" appear in their name, without prior written permission of the Apache Software Foundation.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE APACHE SOFTWARE FOUNDATION OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

=====

This software consists of voluntary contributions made by many individuals on behalf of the Apache Software Foundation and was originally based on software copyright (c) 1999, International Business Machines, Inc.,

<http://www.ibm.com>

For more information on the Apache Software Foundation, please see

<http://www.apache.org/>.

D. Xalan J2: このソフトウェアの使用は、次のライセンス条件によって規定されています。

The Apache Software License, Version 1.1

Copyright (c) 1999-2000 The Apache Software Foundation. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The end-user documentation included with the redistribution, if any, must include the following acknowledgment: "This product includes software developed by the Apache Software Foundation:

<http://www.apache.org/>).

Alternately, this acknowledgment may appear in the software itself, if and wherever such third-party acknowledgments normally appear.
4. The names "Xalan" and "Apache Software Foundation" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact apache@apache.org.
5. Products derived from this software may not be called "Apache", nor may "Apache" appear in their name, without prior written permission of the Apache Software Foundation.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE APACHE SOFTWARE FOUNDATION OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

=====

This software consists of voluntary contributions made by many individuals on behalf of the Apache Software Foundation and was originally based on software copyright (c) 1999, International Business Machines, Inc.:

<http://www.ibm.com>

For more information on the Apache Software Foundation, please see

<http://www.apache.org/>

E. NSIS 1.0j: このソフトウェアの使用は、次のライセンス条件によって規定されています。

Copyright (C) 1999-2000 Nullsoft, Inc.

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software. Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution. Justin Frankel
justin@nullsoft.com"

F. IBM からライセンスを取得した各部分を <http://oss.software.ibm.com/icu4j/> で入手できます。

G. Portions Copyright Eastman Kodak Company 1992

H. Lucida は米国およびその他の国における Bigelow & Holmes の商標または登録商標です。

I. Taligent 社からライセンスを取得した各部分

索引

A

Advanced Security オプション, 2-2
Apache License, A-20
Axis ソフトウェア, A-3

C

ConvertUTF.C ソフトウェア, A-5
CyberNeko HTML Parser, A-6

E

Enterprise Edition, 1-2
Expat XML Parser, A-6

G

GD Library, A-7

J

JabberBeans ソフトウェア, A-7
JPEG ソフトウェア, A-7

L

LDAP SDK, A-8
Lite, 2-17

N

Netscape Messaging Access Software Development Kit (SDK), A-8

O

OLAP オプション, 2-6
OpenSSL ソフトウェア, A-9
Oracle Change Management Pack, 2-10
Oracle Configuration Management Pack, 2-10
Oracle Connection Manager, 1-5
Oracle Content Database Suite オプション, 2-2
Oracle Data Mining オプション, 2-3
Oracle Data Profiling and Quality オプション, 2-4
Oracle Data Watch and Repair Connector, 2-4
Oracle Database Enterprise Edition, 1-2
Oracle Database Lite, 2-17

Oracle Database Personal Edition, 1-2
Oracle Database Standard Edition, 1-2
Oracle Database Vault オプション, 2-4
Oracle Diagnostics Pack, 2-14
Oracle HTTP Server, 1-7
Oracle In-Memory Database Cache, 1-6, 2-5
Oracle Label Security オプション, 2-5
Oracle On-Line Analytical Processing オプション, 2-6
Oracle Partitioning オプション, 2-6
Oracle Provisioning and Patch Automation Pack, 2-16
Oracle Real Application Clusters オプション, 2-6
Oracle Real Application Testing, 2-8
Oracle Records DB オプション, 2-9
Oracle Secure Backup, 2-18
Oracle Spatial オプション, 2-9
Oracle Standard Edition One, 1-2
Oracle Tuning Pack, 2-16
Oracle Warehouse Builder Data Quality オプション, 2-4

P

Personal Edition, 1-2

R

Remote Control ソフトウェア, A-9

S

Sendmail Perl モジュール, A-7
Sentry Spell-Checker Engine ソフトウェア, A-9
Standard Edition, 1-2
Standard Edition One, 1-2
SyncML Toolkit ソフトウェア, A-10

T

Team Spirit ソフトウェア, A-10

X

Xerces C++ ソフトウェア, A-11
Xerces2 Java Parser ソフトウェア, A-11
XPExplorer Bar ソフトウェア, A-12

か

- 管理バック, 2-10
 - Change Management, 2-10
 - Configuration Management, 2-10
 - Diagnostics, 2-14
 - Tuning, 2-16
- 管理用 Oracle Provisioning and Patch Automation Pack, 2-16

さ

- サード・パーティ・ソフトウェア
 - Axis, A-3
 - ConvertUTF.C, A-5
 - CyberNeko HTML Parser, A-6
 - Expat XML Parser, A-6
 - GD Library, A-7
 - JabberBeans, A-7
 - JPEG ソフトウェア, A-7
 - LDAP SDK, A-8
 - Netscape Messaging Access Software Development Kit (SDK), A-8
 - OpenSSL, A-9
 - Remote Control, A-9
 - Sendmail Perl モジュール, A-7
 - Sentry Spell-Checker Engine, A-9
 - SyncML Toolkit, A-10
 - Team Spirit, A-10
 - Xerces C++, A-11
 - Xerces2 Java Parser, A-11
 - XPExplorer Bar, A-12

そ

- ソフトウェアのエディション, 1-2

て

- データベース・オプション, 2-2
 - Advanced Security, 2-2
 - Data Mining, 2-3
 - Label Security, 2-5
 - OLAP, 2-6
 - Oracle Content Database Suite, 2-2
 - Oracle Database Vault, 2-4
 - Oracle Real Application Clusters, 2-6
 - Oracle Records DB, 2-9
 - Oracle Warehouse Builder Data Quality, 2-4
 - Partitioning, 2-6
 - Spatial, 2-9